

## **I 市職員の学校部活動指導等への参加に関するアンケート**

## ■ アンケート実施概要

### (1) アンケートの目的

学校の部活動は、教育的意義を有していますが、本人の専門性や意思に関わらず教師が顧問を務めるというこれまでの指導体制を今後も継続することは、学校の働き方改革を進める中、より一層厳しくなると考えられる。

このような中で、現在教育委員会事務局においては、令和4年度からは熊本市部活動改革検討委員会を開催し、熊本市の子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実と、教職員の働き方改革の両立について検討しているところであり、今年度中に、外部の有識者等から部活動改革について提言をいただく予定としている。

改革を推進するにあたり、指導者の確保は大きな課題となると考えており、市職員の皆さんの中で、部活動や地域でのスポーツ・文化芸術活動での指導に興味関心がある方に、是非ご協力いただきたいと考え、アンケートを実施するもの。

### (2) 調査期間

令和5年（2023年）5月31日（水）から6月14日（水）

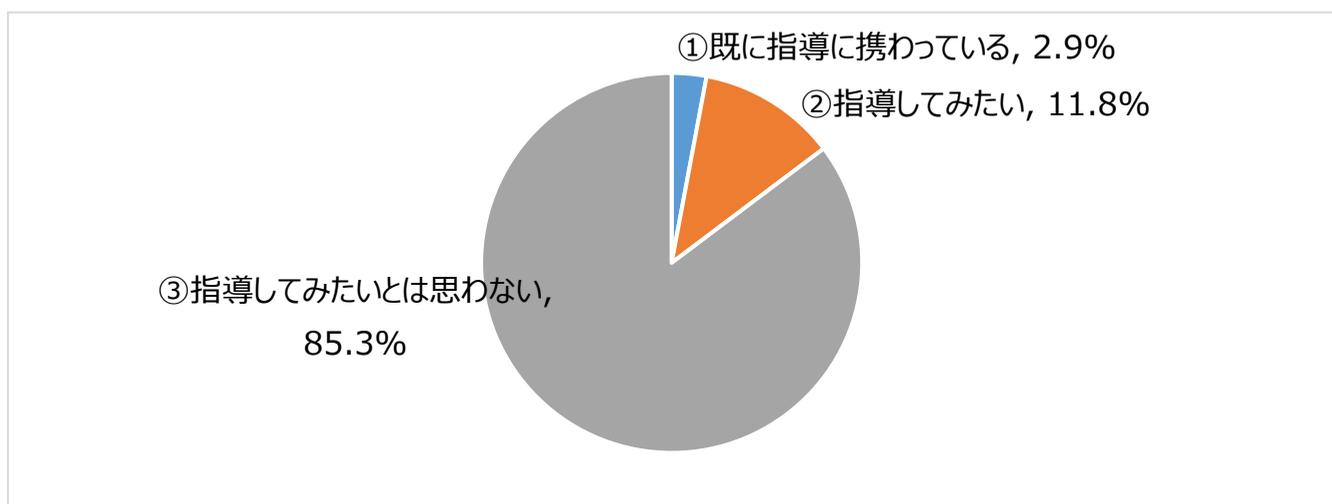
### (3) アンケートの対象及び回答方法

対象	回答方法 ※Microsoft Formsを使用	回答数	対象数 (全数)	回答率
市職員	文書管理システム及び掲示板にて広報・回答	2,005人	6,223人	32.2%

※ 調査結果は、各項目を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

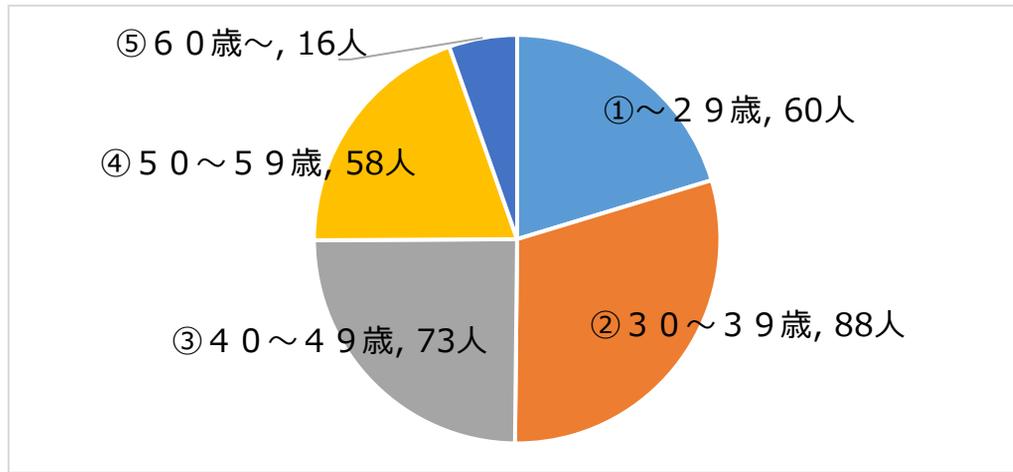
※ 記述については、一部抜粋し掲載している。

## 問1 部活動等本市の子どもたちのスポーツ・文化芸術活動で指導してみたいですか。



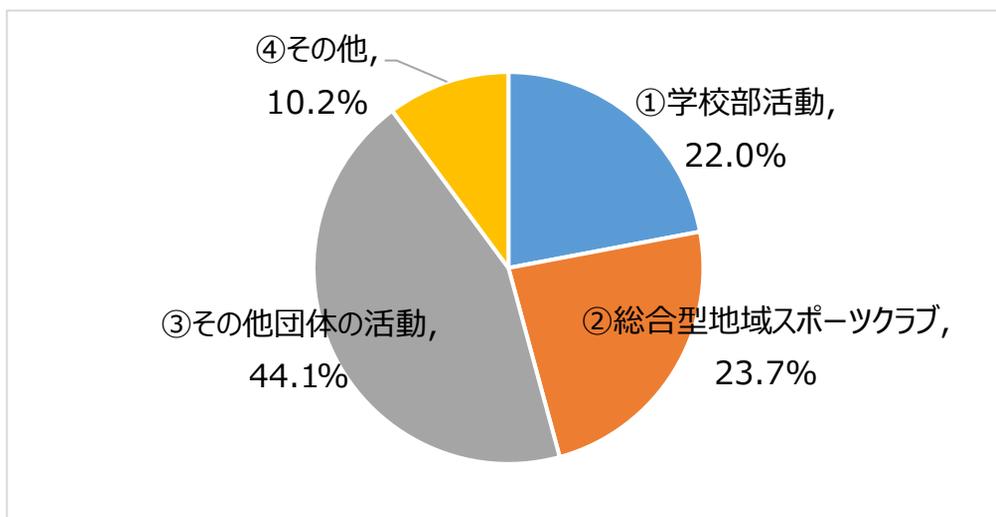
	合計	割合
①既に指導に携わっている	59	2.9%
②指導してみたい	236	11.8%
③指導してみたいとは思わない	1,710	85.3%
計	2,005	100.0%

**問1-2 部活動等本市の子どもたちのスポーツ・文化芸術活動で指導してみたいですか。**



	してみたい	している	合計	割合
① ~29歳	54	6	60	20.3%
② 30~39歳	77	11	88	29.8%
③ 40~49歳	54	19	73	24.7%
④ 50~59歳	40	18	58	19.7%
⑤ 60歳~	11	5	16	5.4%
計	236	59	295	100.0%

**問2 「既に指導に携わっている」と回答した人にお聞きします。どのような活動に携わっていますか。**



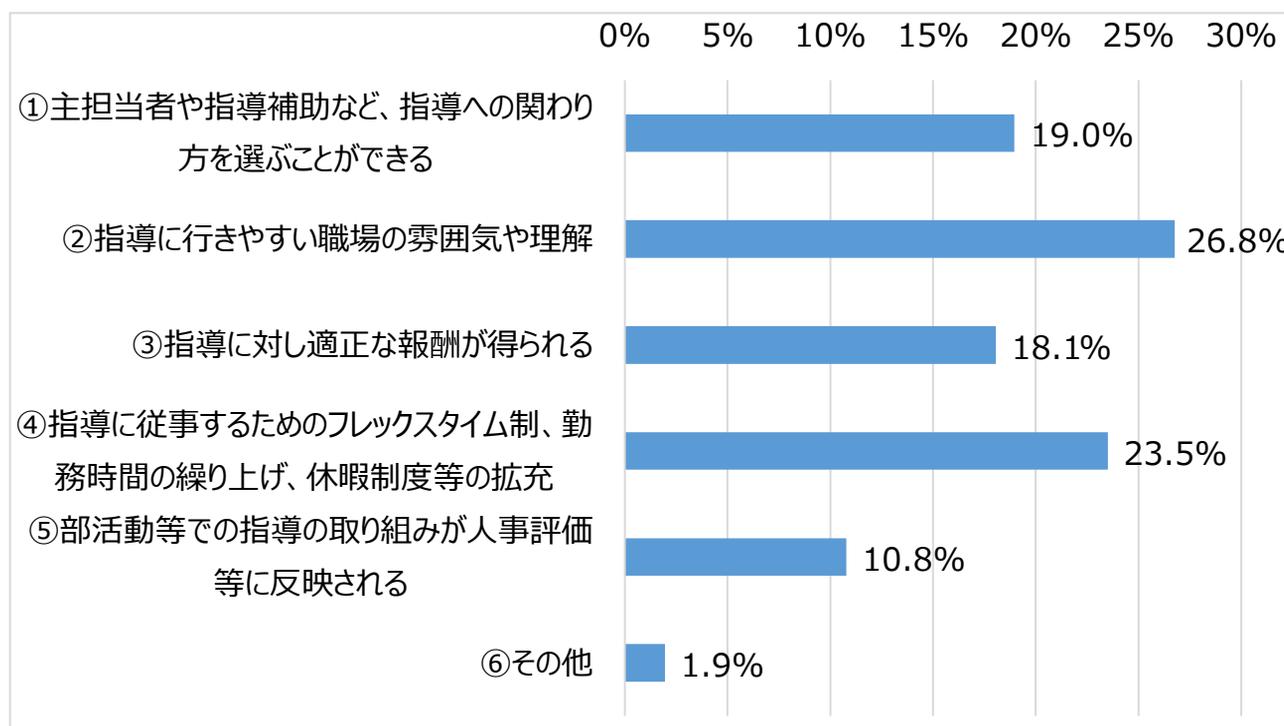
	合計	割合
① 学校部活動	13	22.0%
② 総合型地域スポーツクラブ	14	23.7%
③ その他団体の活動	26	44.1%
④ その他	6	10.2%
計	59	100.0%

問3 どの種目で指導してみたい、または指導していますか。(複数選択可)



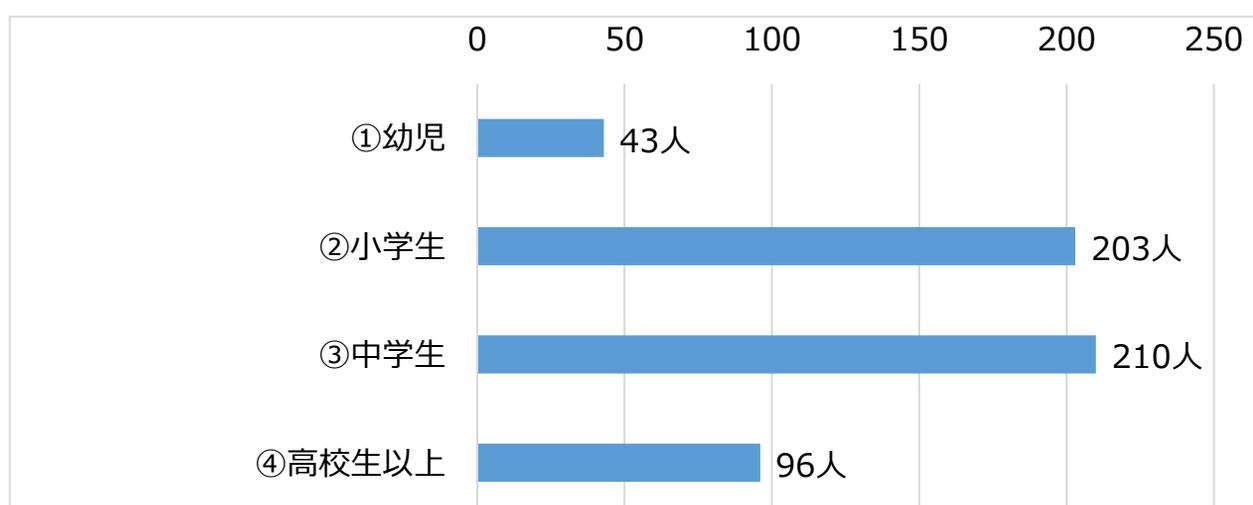
問4 部活動をするうえで必要と思われる条件や制度を選んでください。

【複数回答可】



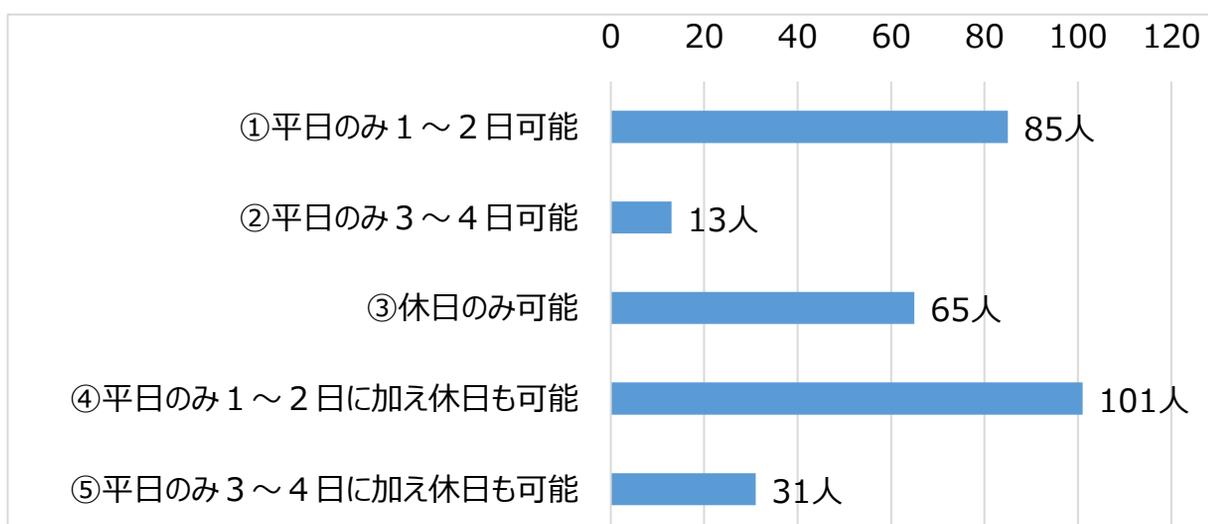
	人数	割合
①主担当者や指導補助など、指導への関わり方を選ぶことができる	146	19.0%
②指導に行きやすい職場の雰囲気や理解	206	26.8%
③指導に対し適正な報酬が得られる	139	18.1%
④指導に従事するためのフレックスタイム制、勤務時間の繰り上げ、休暇制度等の拡充	181	23.5%
⑤部活動等での指導の取り組みが人事評価等に反映される	83	10.8%
⑥その他	15	1.9%
計	770	100.0%

問5 どの年代を指導してみたいですか。【複数回答可】



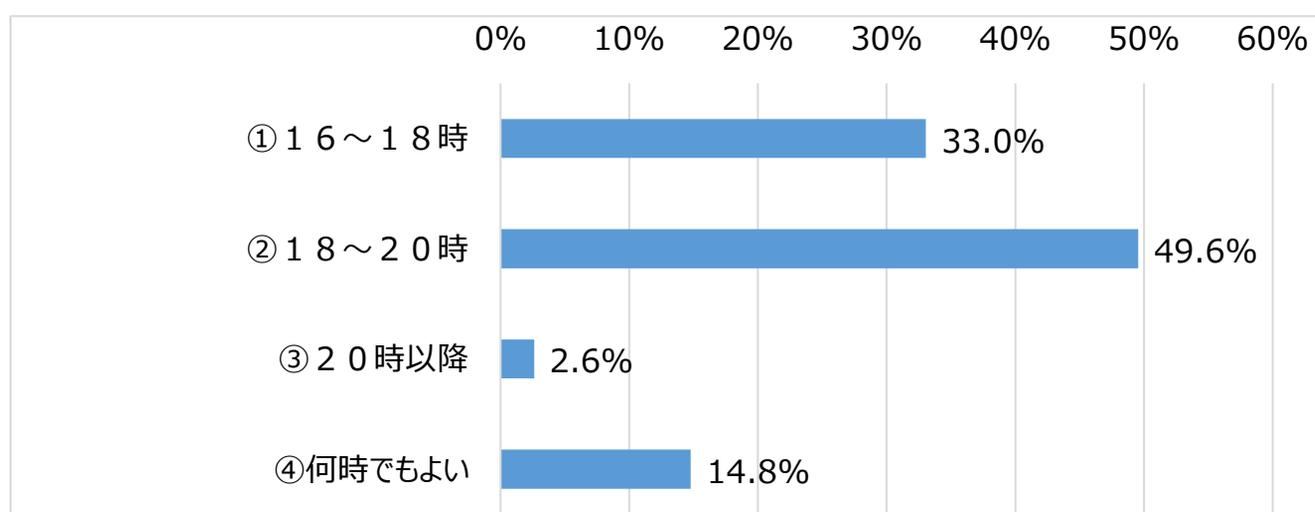
	人数	割合
①幼児	43	7.8%
②小学生	203	36.8%
③中学生	210	38.0%
④高校生以上	96	17.4%
計	552	100.0%

**問6 指導可能な日を選んでください。**



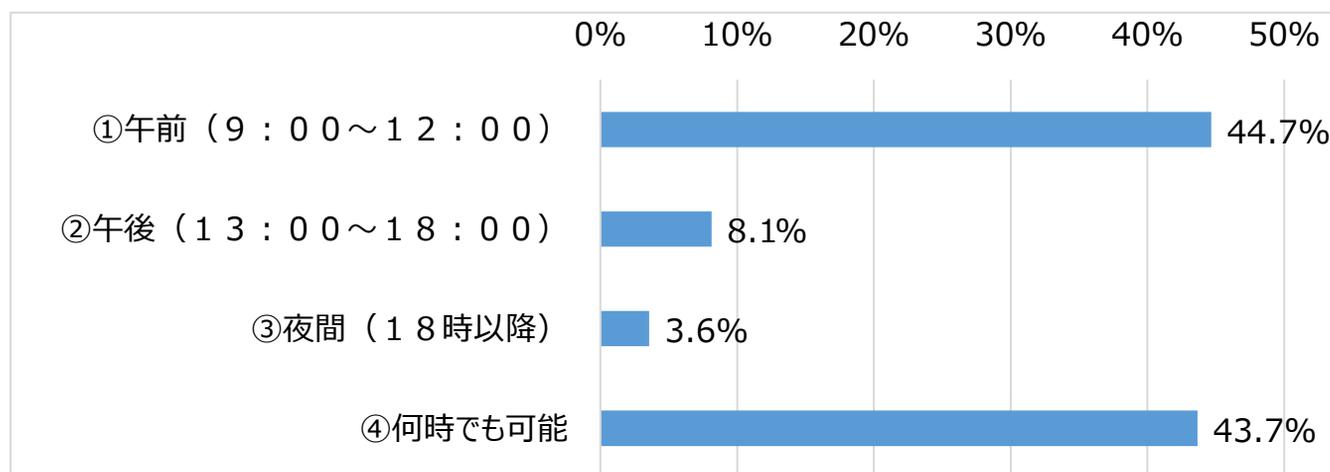
	人数	割合
①平日のみ1～2日可能	85	28.8%
②平日のみ3～4日可能	13	4.4%
③休日のみ可能	65	22.0%
④平日のみ1～2日に加え休日も可能	101	34.2%
⑤平日のみ3～4日に加え休日も可能	31	10.5%
計	295	100.0%

**問7 平日で指導を希望する時間帯を教えてください。**



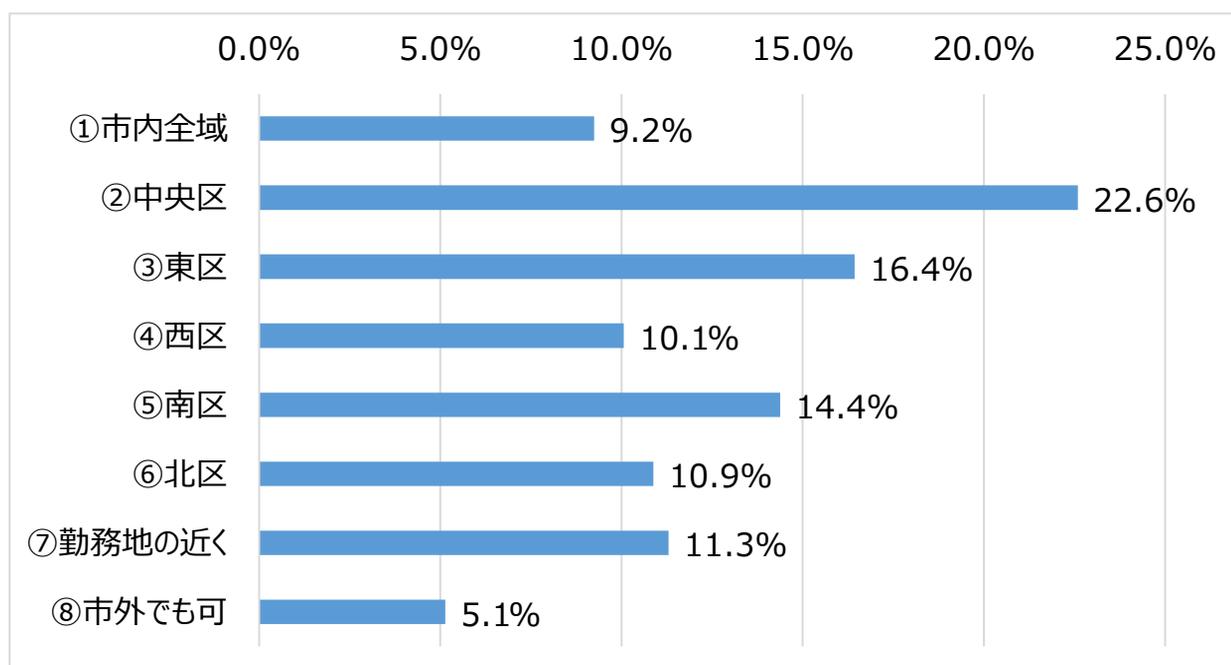
	平日のみ	平日+休日	合計	割合
①16～18時	40	36	76	33.0%
②18～20時	49	65	114	49.6%
③20時以降	3	3	6	2.6%
④何時でもよい	6	28	34	14.8%
計	98	132	230	100.0%

**問8 休日で指導を希望する時間帯を教えてください。**



	休日のみ	平日+休日	合計	割合
①午前 (9:00~12:00)	33	55	88	44.7%
②午後 (13:00~18:00)	9	7	16	8.1%
③夜間 (18時以降)	3	4	7	3.6%
④何時でも可能	20	66	86	43.7%
計	65	132	197	100.0%

**問9 指導可能な地域を選んでください。【複数回答可】**



	人数	割合
①市内全域	45	9.2%
②中央区	110	22.6%
③東区	80	16.4%
④西区	49	10.1%
⑤南区	70	14.4%
⑥北区	53	10.9%
⑦勤務地の近く	55	11.3%
⑧市外でも可	25	5.1%
計	487	100.0%

## 問10 部活動改革の取組についてご意見・ご要望がございましたら記入してください。

(一部抜粋)

<p>部活指導や管理を教職員だけで行うことは、もう限界が来ていると思います。勝利主義一辺倒になることや特定の指導者からの不適切な指導を防ぐためにも、地域と連動した生涯スポーツや文化としても位置づけられるといいですね。</p>
<p>教職員の負担軽減のため、部活動改革は理解できるが、部活動を指導する指導者のレベルも重要であると考えている。スポーツが上手になるような指導、スポーツを通しての育成等を指導者が行われなければ、後々子どもたちが継続してスポーツをしようとはならず、そのためスポーツの基礎などを指導できる指導者の選定も重要な課題となると考える。</p>
<p>実際にクラブチームの指導をしながら、「現代」の指導者には「技術的指導」ではなく「マネジメント力」が必要だと感じています。</p> <p>また、小中学生においては人間的成長もサポートする必要がある、その点では教員が指導者であるということはこれまでのメリットであったと考えます。</p> <p>本市においては学校部活動と地域スポーツの振興業務は市長事務部局と教育委員会ですみ分けが違うので連携が大変だと思いますが、行政と競技連盟がしっかりとタッグを組んで、指導者の育成に特に力を入れて欲しいです。</p>
<p>競技にもよるが、生徒を指導できる人材が不足していることに加え、社会人は平日昼間の指導は困難。学校の教諭等が一定程度関わる仕組みにしないとうまくいかないと思う。</p> <p>また、部活動を通じて多くのことを学ぶことができる。改革にあたっては、教育的な観点を重視していくことが重要。</p>
<p>公務員のみならず一般企業も残業の減少を進めなければ、正直指導者は見つからないと思います。ただ、夜間で練習しているチームは、子どもの睡眠時間確保のため、そもそも入部してこない。</p>
<p>小学生が部活から社会体育に移行され、活動時間が19:30から21:30となったことから、就寝時間が自ずと遅くなった。これは、子供たちの成長にも大きく影響を及ぼすのではないかと。一方、中学生は従来通りの部活動あり19時まで練習を終えている。このことに大きな矛盾を感じている。</p>
<p>吹奏楽部については、どうしてもパートに分かれての練習も必要であり、そうした状況を可能にできる場所が学校しかない地域が大半であると思う。これまで各学校で所有していたパーカッション等の大物楽器の格納場所もしかり。そうしたハード面の環境の整備が必要ではないか。</p>
<p>手伝い程度も含めて複数人コーチ制とすれば負担感が減り、さらにはハラスメントの防止にも繋がると考える。</p>
<p>指導する方が安心して指導できる環境や、指導に必要なスキルや手法を学ぶ機会が必要と思う。</p>
<p>毎回必ず指導に行ける訳ではないので、複数人の指導者がいれば望ましいと思う。また、子どもが怪我や体調不良を起こした際の対処方法について事前にレクチャーしてもらおうと良いかと思う。</p>
<p>指導員をするにあたり、適正な報酬(時給)は得たいところですが、その場合公務員の副業にあたるかの整理は必須かと思います。逆に、行政職員の勤務時間内の指導という位置づけも可能なのでしょうか。今後の動向に注目していきたいと思います。</p>
<p>現状のボランティア形式のままにするか、コーチに報酬が払われるクラブ形式にするか決める必要があるのではないかと。学校の部活動という枠だけでなく、地域のクラブチームとの関係性も含めて考える必要があるように思う。どんな事業でも同じかと思うが、そろそろ利用者に対してサービスを受けるには費用がかかることを理解してもらった必要があると思う。</p>
<p>進学する学校に希望の部活動がなく、幼いころから取り組んできた種目を諦めないといけない事例を聞きます。せめて近隣校の部活動に参加できるなど、種目ごとの拠点校方式がとれればと常々思っています。時間外や休日に指導して下さるのが負担になっているのは承知していますが、親としては、様々な面から部活動の存続を希望します。部活動が無くなって居場所がなくなる子は多いと思います。専門性が高いスポーツクラブと部活動が上手くすみ分けできることを願っています。練習日を減らして先生方の負担を軽減してもいいと思います。</p>

あくまでも部活動としての位置づけなのか、競技志向（強豪校志望）なのかで携わり方など変わってくると思うが、特に競技志向となれば、当然遠征等のため送迎対応や宿泊する場合が出てくる。こういった場合の職場での休暇制度やサービスの取り扱いについて、指導者の負担とならないよう検討する必要が必要である。

部活のクラブへの移行が進んでいますが、親の送迎がない家庭においては、やりたいスポーツや文化活動などをすることができません。ある程度は、学校や地域で放課後に運動できるような環境を残すべきだと思います。親が熱心だったり送迎できなかつたりしても、平等に部活動ができるようにしてほしいです。

企画、趣旨、到達目標など、いろんな議論に柔軟性を欠いているように思います

一部の人でなく、関係のない人の意見も聞いてみるのが大事だと思います

学校改革ありきで、こどものいない家庭には部活のことに関する、こどもたちや地域の声は聞こえてき

指導者の確保はとても大きな問題ですが、その問題を解決するのは指導者の働いている環境の整備だと思います。

環境が比較的整備しやすいと思われる公務員が、他の業種に先駆けて指導者として指導できる環境を整備していくことが必要かと思います。

市職員の指導参加は非常に良い取り組みであり、ぜひ協力したいと思う。

指導に行きやすい職場の雰囲気や理解も大事だが、理解できるような職場環境（適正な業務量や見合った人員の配置）を作ることが大事